



鬼は外～外～外～！！

2月3日節分の日には妹背牛保育所で豆まきが行われました。こわ～い鬼を退治できるよう大きな声で「豆まきの歌」を歌って元気をつけます。「みんなのおなかの中にいるいじわるオニや泣き虫オニ



を追い払いましょう」と先生からお話のあと、ホールの窓から赤鬼と青鬼がやってきました。驚く子どもたちをしり目に、

鬼は金棒を振り回して大暴れします。先生からの「鬼をやっつけよう！」の掛け声に、この日のために「豆」に見立てた紙を丸めて作った球を握りしめ「鬼は外～」と叫びながら鬼めがけてぶつけていきます。みんなから攻撃された鬼は降参して、優しい鬼になり子どもたちともすっかり仲良しに。お別れの時はちょっぴり寂しそうな鬼さんたちでした。
※今回の鬼さんは地域おこし協力隊のお二人がお手伝い下さりました。

気分は1年生！

2月1日小学校において、4月に入学を予定している子どもたちの1日入学が行われました。入学予定者は22名。小学校のプレイルームを所狭しと走り回る子どもたち。そんな元気な「後輩」たちを優しくエスコートするのは1



年生のお兄さん、お姉さん。優しく手を取って自分たちが学んでいる教室まで案内します。教室では、先生から折り紙の折り方を教えてもらい、難しいところはお兄さん、お姉さんがお手伝いして一緒に楽しみました。その後は、体育館で遊びの時間を満喫。1年生になるのが益々楽しみになった様子の新一年生たちでした。

お仕事頑張りました

1月19日、子どもたちに仕事の体験を通して「食」の大切さや、流通の仕組みなどを学んでもらうと「おしごとキッズ」（主催：町教育委員会）が開催されました。24名の子どもたちがコープ札幌滝川店において魚や肉のパック詰めや、レジ打ち、商品の陳列、店内放送などの仕事に挑戦しました。早速、体験部署に分かれて仕事のスタートです。白衣に着替え、お店に並べるため肉や魚のパック詰め作業をする子どもたち。レジ打ちをする子どもたち。緊張しながらも「いらっしゃいませ」と一生懸命接客をします。いつもと違う可愛らしい従業員に来店しているお客様もつい笑顔に。お給料「ト

ドック紙幣300円」と修了証を店長から受け取り、無事仕事が終わりました。



生きがい講座開講

1月24日町内に在住する60歳以上の方を対象とした「生きがい講座」(主催:町老人クラブ連合会)が開講されました。全5回の講座が予定されており、午後からのクラブ活動では、カラオケやダンス、料理教室なども行います。最終日には、北空知圏学校給食センターの

見学など盛りだくさんの内容となっています。初日となるこの日は開講式が行われ、



その後は、田向雄滋妹背牛駐在所長より「高齢者の事故を防ぐには」と題して、高齢者ドライバーが実際に起こした事故の話などを織り交ぜながら、交通安全についてのお話があり、参加されていた方たちも興味深く耳を傾けていました。

また一つ楽しい思い出



卒業式を間近に控えた2月10日、中学校で「3年生を送る会」が開かれました。あと僅かで中学校を卒業する3年生を楽しませようと、生徒会が企画しました。3年生はお気に入りのコスチュームで1・2年生の待つ体育館へ入場。先生や後輩の笑いを誘います。1年生の企画は「箱の中身は何でしょう」やモザイク写真から有名人を当てるなどのゲームで3年生を楽しませ、2年生はテレビ番組「ネプリーグ」を真似て2年生・3年生チームに分かれ対決。3年生の珍解答に会場は大いに盛り上がりました。会の最後には、在校生から3年生に感謝の気持ちと入試に向けての激励の言葉が贈られました。

ジュニアカーリング大会開幕

1月21日~22日、第14回道央ブロックジュニアカーリング選手権大会(主催:道央ブロックカーリング協議会)が、町カーリングホールで行われました。男女合わせ、15チームが参加し氷上での熱戦を繰り広げました。地元妹背牛の子どもたちで構成されているチーム、Snow Fairiesも参戦。予選を勝ち抜き、決勝トーナメントへ進み準決勝で南富良野高校を倒し、決勝戦進出を決めました。決勝戦はwinger(札幌)で、健闘空しく優勝を逃したものの、男女上位2チームが3月16日から名寄市で開催される北海道ジュニア選手権に出場、女子チームの活躍に期待が膨らみます。



もせうし冬まつり

2月11日わかち愛もせうし広場において、2017もせうし冬まつり(NPO法人わかち愛もせうし主催)が開催されました。午前11時からスタートしたお祭りは、100人を超える人たちで賑わいました。縁日のコーナーでは射的や、輪投げスロットボールなど、子どもから大人まで楽しめるゲームがたくさん用意され、お孫さんと一緒に楽しむ方も見受けられました。12時からは「ぜんぶ100円」で豚汁、いなりずし、から揚げ、ポテトフライなどが用意され長蛇の列が。1時頃からは、妻神魂の演奏や昨年11月に公演された介護劇のビデオ上映などで会場を盛り上げました。「去年より人が集まってくれて嬉しい」

とNPO法人わかち愛もせうし、水上市長も顔をほころばせていました。

